

摩訶般若波羅蜜多心經



歲在壬戌六年初春
雲慧居士壽成壽山善大奇唔刻



善光寺所蔵印材



篆刻 『般若心経』 開創二十五周年記念

今年、開創二十五周年を迎えるにあたり、記念に、中国人篆刻家・王新徳氏に依頼して『般若心経』を制作していただいた。

王氏は一九五二年天津に生まれ、九歳から楷書を学び、十七歳から著名な古文字学者・康殷氏に師事して、秦漢の古印の模刻、篆書・鐘鼎の碑文を修得し、中国の新聞・雑誌に多くの作品を発表。一九八八年に來日して、各地で実演講演をしておられる。

『般若心経』について

数多いお経の中で『般若心経』ほど広く親しまれ、多く読まれてきたお経はほかにありません。

ん。それは、本文がわずか二六二文字というごく短いお経であるにもかかわらず、その内容はきわめて深遠で『大般若経』六〇〇巻の精髓であり、これを読み、また写経すれば無量の功德、不可思議の靈験があると信じられてきたからであります。

『般若心経』は正式には『摩訶般若波羅蜜多心経』ですが、略してただ『心経』ともいいます。非常に優れた（摩訶）智慧（般若）によって悟りの世界に到る（波羅蜜多）肝心肝要の教え（心経）、あるいは智慧の完成の極意の書ということがあります。

私たち人間は、東といえば西、右といえば左、

上といえ、下、是非善悪、利害得失、吉凶禍福というふうにして、すべてを相対的にみておられます。

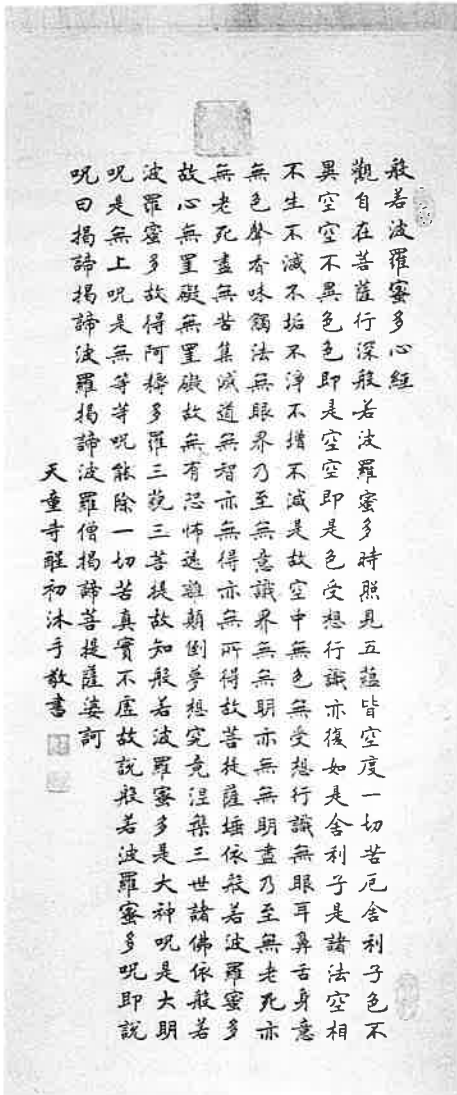
したがって、好きなものは取り、嫌いなものは捨てる取捨選択の心が常にはたらく、意のままに事が運ばばよろこび、思うにまかせぬときは

悲しみ嘆くというように、事ごとくに心をとどめ、捉われております。

この取捨憎愛、分別妄想を「色即是空」のふ

るいにかけて、「空即是色」とクリーンなものにしない限り、心の休まることはありません。したがって、一切皆空の道理を体得して実践すれば、苦しみ悩みはおのずから消滅するのであります。

『般若心経』は、否定的表現を縦横無尽に駆使して、私どもの取捨憎愛の心を徹底的に打破するのであります。そして最後に、その悟りの



般若波羅蜜多心經

觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不異色色即是空空即是色受想行識亦復如是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨不增不減是故空中無色無受想行識無眼耳鼻舌身意無色聲香味觸法無眼界乃至無意識界無無明亦無無明盡乃至無老死亦無老死盡無苦集滅道無智亦無得亦無所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心無罣礙無罣礙故無有恐怖遠離顛倒夢想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故得阿耨多羅三藐三菩提故知般若波羅蜜多是大神呪是大明呪是无上呪是无等等呪能除一切苦真實不虛故說般若波羅蜜多呪即說呪曰揭諦揭諦波羅揭諦

天童寺醒初沐手敬書



王新徳氏

智慧、般若のこころを呪文によって結んでおります。

羯諦羯諦 波羅羯諦 波羅僧羯諦 菩提薩婆訶

ゆきましよう ゆきましよう 捉われなき世
界へ すばらしいところへ 一人残らず さ
とりよ幸あれ

という意味ですが、呪文ですから「羯諦羯諦……」と原語で唱えたほうがよく、いつも唱えて智慧の完成を実践してくださるよう祈念します。

王 新 徳

在日中国書畫篆刻家連盟理事
中国書法家協会会員
北海道篆刻会理事